

会宝お客様通信

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌



2 月号

ほほえみ Hohoemi

ぽすと Post



迫る！国際リサイクル会議

こんにちは、近藤です。先月ご紹介しました国際リサイクル会議まで、あと1週間、主催者RUMアライアンス（NPO法人で全国自動車リサイクル業者の集まり）の代表理事として、だんだんと緊張の度合いも高まってきています。

おかげさまで、内容も概ね固まりました。2月8日（金）の9:15～14:40、石川県立音楽堂交流ホールにて開催いたしますので、読者の皆様でご興味ある方、よろしければぜひご参加ください（まずは076-237-5133までお問い合わせください）。

会議には22カ国32名（内大使7名）の在日大使館代表者の参加が予定されています。ちなみに、複数の大使が石川県へ来県されるのは初めてのことから、本格的な国際環境会議が金沢にて行われるということで、石川県、金沢市からも興味を示していただき、後援をいただくことになりました。

2nd

International Recycle Conference Kanazawa '08 for THE CAR



さて、会議の内容について、お話いたします。基本的な考え方は、発展途上国において、使用済み自動車が適切に処理

され、再資源化されるよう、日本の自動車リサイクルの技術を移転しよう、ということです。

まず、第1部で①発展途上国における自動車リサイクルシステム・プロジェクトについて、②会宝通信1月号で説明したCDM（クリーン開発メカニズム）について、③自動車リサイクル技術者の育成を目指し、RUMが2007年4月に開設したIREC（国際リサイクル教育センター・場所は会宝産業本社に隣接）について、それぞれDVDにて基調報告をいたします。

それから昼食を挟み、第2部としてパネルディスカッションを2時間の予定で行います。メインキャスターはNPO法人フューチャー500理事長の木内孝さんに務めていただきます。木内さんには、第1回の国際リサイクル会議でもお世話になっており、再登板をお願いしました。

テーマは「発展途上国における自動車リサイクルビジネスの未来」、さて、このパネルディスカッションには参加国の大使館代表者4名と自動車リサイクルに関わる専門家に参加いただきます。

さらに私もパネリストとして参加します。これは今からドキドキしますね。なにしろ、話がどのような展開になっていくのか予測がつかません。まあ、心配していてもしょうがありません。日頃、私が自動車リサイクルについて感じていることを、率直に話すことができると考えております。そしてその中でひとつの方向性が示され、それを実現するための手段が出てくれば、面白いことになるなあ、と思っています。

車両課からの お得な耳寄り情報



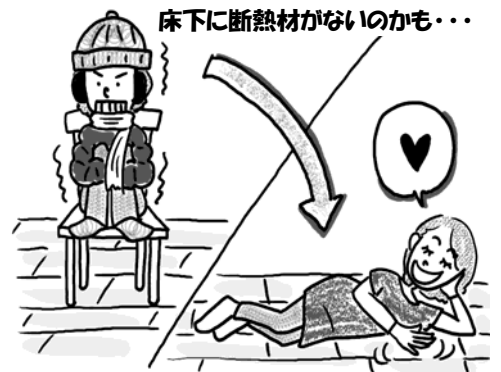
1階の床が冷たい

床下に断熱材を入れるか基礎部分を基礎断熱していないと、どんなに床暖房をしても熱が逃げてしまいます。1階の床がとくに冷たくなるなら、床下が断熱されていないかもしれません。

基礎断熱は床下の換気口を閉鎖し、基礎の外周部分を断熱材で囲みます。床下も室内と同様の空間にすると高温低湿で安定し、床や土台などの構造材の腐朽防止になります。また、水道凍結の心配もありません。

床下に断熱材を貼るだけなら比較的簡単に工事できます。その場合、1階の床下全部に断熱材を貼るほうが家全体

を暖かく保てるでしょう。また熱は、玄関や窓、壁からもかなり逃げてしまいます。壁リフォームの際には断熱材を入れ替えたり、断熱ドアや断熱窓も検討してみるといいでしょう。ちなみに1階が暖かい空気層になれば、2階はそこそこ暖かいようです。



07年12月の車両処理実績

フロンガス	破壊	Kg	203
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		389
廃オイル	リットル		5,100
LLC	リットル		2,800
入庫台数	一般	台	944
	投棄	台	
処理台数	台		790
廃車ガラ量	トン		461

今月のクレーム

ターボチャージャー



皆さんこんにちは。今月は私、松崎が担当します。よろしくお願いいたします。

ターボチャージャーを交換しても、エンジンやターボチャージャーの周辺に不具合が残っていると、せっかく取り替えたターボも壊してしまいます。

リビルトタービンを手配した際の出来事です。交換してすぐに白煙が出てしまったようで、2度代品をお送りしたのですが、状況は変わりませんでした。

実際はオイルの供給不足が原因でした。オイルストレーナーに目詰まりを起こしていたため、ポンプからターボへのオイル供給量が不足してしまい、ターボが破損し

たということです。

このように、オイルストレーナーやターボのオイルドレンパイプ、インレットパイプの目詰まり、ユニオンボルトのカーボン詰まり、汚れや異物の混入、カーボンの付着、他には吸入インペラを止めているナットが付いているかなど、交換する際には再度の点検・確認が必要だということがわかりました。

今後はお客様にお手間をかけさせないため、外した部分の周辺や、ターボチャージャーの状態を再度ご確認くださいと思います。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

E-mail kokunai@kaiho.co.jp

車両課TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業

<http://www.kaiho.co.jp>



いきいき趣味らいふ

デジカメの普及で写真を撮る機会は増えましたが、撮りっ放しになりがちなのが残念なところ。写真は大事な思い出です。家族のナイスショットをお部屋のインテリアとして活用してみませんか。せっかくなので市販のフォトフレームを使わずに、自作してみましょう。文具メーカーなどが出しているポスターフレームのA4・B5サイズならフォトフレームにも使えますよ。裏面から出し入れするトンボ式をおすすめします。

まずはお気に入りの写真を何枚か用意し、フレームにレイアウトします。写真は四角いままではなく、丸やハートに切ったり、背景の余分な部分をカットしたり

家族の思い出で部屋を飾ろう！



こんなアイデアも素敵！

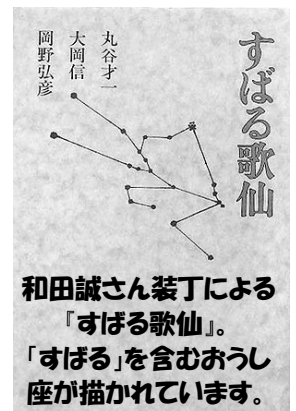
して動きを出すと見栄えがします。次は全体をデコレーションして一枚のポスターのように演出してみましょう。写真の周りを飾ったり余白にシールを貼ったり、吹き出しをつけてみるのも面白そう。フレームの背景を濃い色の色画用紙にすると全体が引き締まりデコレーションも引き立つので、色のメリハリで見た目の楽しさを工夫したいところです。スケッチブックなどでイラストのような「マイアルバム」に仕上げるのもおすすめです。

疲れたとき、壁に飾られた家族の思い出に元気をもらえるよう、とびきりの写真を選んでくださいね。

季節の星ぼし

★古くからの人気者 ～すばる(プレアデス星団)～

「すばる」は、集まって一つになるという意味の「統(す)ばる」から生まれた名前です。肉眼では6個ほどの星が集まって見えるので「六連星(むつらぼし)」とも呼ばれていましたが、本当は100個余りの星が密集して青白い光を放つ美しい星集団です。「すばる」という名前の歴史はとても古く、『古事記』や『日本書紀』にも記されています。清少納言は『枕草子』で「夜空で一番美しい星」だとも書いています。



みかんの皮は捨てないで！

【金属磨き】蛇口などの金属部分は白いほうで磨くとピカピカに。
【フローリング&畳のお掃除】皮1個分をちぎって100ccの水で約15分煮て、冷めたらザルでこし、フローリングにスプレーすると汚れ落としとツヤ出し効果があります。乾いた雑巾にスプレーして畳を拭くと黄ばみが落ち、黄ばみ防止にもなります。

節約玉手箱

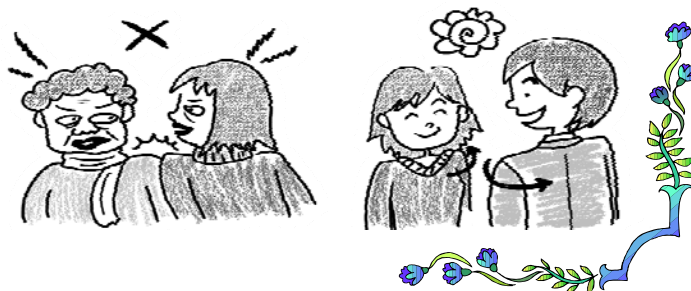
食べ終わったみかんの皮には、いろいろな活用法がありますよ。
【消臭】電子レンジで皮1個分を1分ほど加熱すると、レンジ内の消臭になります。魚や灯油の臭いが手に付いた時は、手の中で皮をよくもむと臭いが和らぎます。
【汚れ落とし】油性ペンの落書きは皮の黄色いほうをこすり付けると落ちます。革靴の汚れは白いほうで落とし、黄色いほうで磨きます。

江戸の知恵で女度アツ!

すれ違いざまにお互いが肩を引き合う「肩引き」。雨の日には、お互いを濡らさないように傘を外側に傾け合う「傘かしげ」。このような作法は「江戸しぐさ」と呼ばれています。江戸の町は今の東京よりも人口密度が高く、人々がひしめきあって暮らしていました。そのためにお互いが気持ちよく暮らせるような知恵が生まれたのです。

乗合い船では座っている人が順番に腰を浮かせ、こぶし1個分ずつ詰め合った「こぶし腰浮かせ」。断りなく相手を訪問したり、遅刻して相手の時間を奪うことを禁じた「時泥棒」。初対面の人に年齢、職業、地位を

聞くことを戒（いさ）めた「三脱の教え」など、江戸しぐさは現代にも通じる大切な教えです。昨年は『女性の品格』が大ベストセラーになりましたが、江戸しぐさも「人としての品格」と言えそうです。昔の人の知恵を拝借すると女ぶりに磨きがかかりそうですね。（参考：『暮らしうるおう江戸しぐさ』越川禮子著／朝日新聞社発行）



こんなとき ぞーする!?

年中行事から

冠婚葬祭まで

～ 豆で鬼を退治できるの? ～

節分には豆をまいた後、歳の数だけ豆を食べますね。そうするとその年は病気にならず、長生きすると言われています。ところで、なぜ大豆をまくのでしょうか。昔の人は、こんな小さなもので鬼退治ができると思ったのでしょうか。

家相などでよく言われる「鬼門（きもん）。陰陽道では鬼が出入りする忌（い）むべき方角だとされています。この鬼門の邪気を祓（はら）って無事に春を迎えるための行事が節分です。平安時代に陰陽師たちによって宮中で始められ、その後、諸国の社寺でも行われるようになりました。

陰陽道には「陰陽五行の法則」というものがあります。五行とは自然の道理を木、火、土、金、水の五

元素で表しており、このうちの「金」には、硬い、厄病、災厄といった意味があります。「鬼に金棒」の「金」は五元素の「金」の象徴で、この「金」の作用をなくすのが「火」です。

節分にまく大豆はとても硬いということで「金」

にあたります。豆は鬼をやっつける道具でありながら、実は鬼（厄病）そのものでもあるわけです。節分には大豆を「火」で煎り、豆まきをし、最後は食べてしまう——。これが鬼退治を意味しているのです。

ちなみに鬼門は北東の方角ですが、陰陽道の北東は「艮（うしとら）」の方向、つまり丑（うし）と寅の間の方位とされています。このため鬼にはウシの角があり、トラのパンツをはいているとされるそうですよ。

